

第6次総合計画(素案)に対する意見と考え方について【案】

1. 意見提出期間 平成22年9月19日(日)～10月18日(月)
2. 意見提出状況 (1) 提出者数 7名(直接3名・投函箱2名・Eメール2名)
- (2) 意見件数 18件

No.	該当箇所	意見・提案	意見・提案の理由	考え方(案)
1	全体	計画(案)全体を見させて頂いて思ったのは、非常に多岐に渡る内容、各項目が多彩で、無尽蔵にリソースのある地域の案かと思いました。	地域性も薄く感じ、どこの地域で作っても同じ内容になりそうな・・・。 みなさんの思いが大きく、多くの意見を調整できなく削れない事から来る「あれもこれも」にならないければ良いと願います。優先順位を付ける時に揉めそうだなと・・・。 冒頭の県議の方がおっしゃっていたような、「選択と集中」も必要ではないでしょうか？ 参加もせず、汗もかいていない自分が、偉そうな事は言えませんが、こんな意見でも参考にして頂ければ幸いです。	【ご意見として承ります】 総合計画の策定は、「高浜市の未来を描く市民会議」が中心となって、市民の皆さんと行政と一緒に考え知恵を出し合いながら作業を進めてきたことから、市民の皆さんの熱い思いがこの計画には込められています。 計画の策定に当たっては、「あれか、これか」といった選択・集中が欠かせないことから、その中でも優先度の高いものを反映させています。 このため、更なる優先順位付けについては、社会情勢や財政状況の変化等、様々な要素を踏まえて、市長や議会が対話をしながら決めていく責任があると考えます。
2	全体	基本計画の「こんなことに取り組みます！」については、社会経済情勢の変化、税收の落ち込み等による事情変更に対応できるように、総合計画の中における優先順位付けを定めておいた方が良く考えます。 例えば優先順位 Aランク：最低限行わなければならないもの Bランク：予算の許す範囲で行うもの Cランク：財源の裏付けができれば取り組むもの(設備整備、大規模改修などの投資的経費)		

No.	該当箇所	意見・提案	意見・提案の理由	考え方(案)
3	6ページ	「計画策定にあたっての市民参画」	「市民意識調査」「小・中学生アンケート」は行われているが、高校生については対象になっていない。これから高浜市を担う高校生は、進路を考える上で、高浜市に住み続けるのか、他の都市に転居するのか、進路選択の一つの指標にするだろうと思います。高校生も調査対象にしてもらいたい。高浜市では住民投票が18歳以上であり、若者に期待するところが大きいと思います。高校生・大学生・専門学生などの意見も集約できるともう少し別の見方もできるのではないかと。	【ご意見として承ります】 現在、策定中の「高浜市自治基本条例」では、次代のまちづくりの担い手である子どもが意見を言うことができる機会をつくっていくことは大切であるという考え方から、「子どものまちづくりに参加する権利」(第6条)を謳っています。 いただいたご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
4	10ページ	将来都市像について	ソフトな面ばかりで、ハード面(例:産業都市・観光都市・福祉都市・ハイテク工業都市)等の将来都市像がない。	【原案のとおりとします】 高浜市は、行政だけでなく、住んでいる市民、高浜市をよりよいまちにしていこうと活動している団体、事業所やそこで働いている人、学校等で学んでいる人など、様々な人たちの営みによって成り立っています。それら全てを1つの家族、すなわち「大家族」と見立て、思いやり、支え合い、手と手をつなぎながら、みんなが高浜市を創り上げていくことを目指します。 取り組みの具体的な内容については、基本計画の中に取り入れています。
5	14ページ	跡地や空き地などの低未利用地	この点については、宅地利用のみでなく、共に使える或いは共に参加できる商業スペースもしくはイベント会場等、多目的使用の可能な私的空間も考えてはどうか。市が所有するのではなく、企業などが所有する多目的スペースなども考えられるのではないかと。市民が集まって利用でき、楽しめるスペースで、物の売り買いができ、しかも見る楽しみがあって、ビジネスにつながるスペースにできないだろうか。このような土地については、場所によっては「市民農園」などとして、わずかなスペースを市民が土日を利用して野菜を作るなど農地として利用も可能なスペースにはならないだろうか。ここでできた野菜も市内で売れたら面白いのですが。	【ご意見として承ります】 ご意見として承り、今後の施策の参考とさせていただきます。

No.	該当箇所	意見・提案	意見・提案の理由	考え方(案)
6	15ページ	「図 土地利用構想図」の中 都市幹線道路軸(供用済)と都市幹線道路軸(計 画中)の実線/破線がおかしいと思うところがあり ます。	<ul style="list-style-type: none"> ●(都)西尾知多線のうち、碧南市境部は破線にす べき 名鉄交差部は破線にすべき ●(都)碧南高浜線のうち、屋敷町あたりは、(都 市計画幅員に満たないが)現道供用中なので、 実線にすべき 	<p>【変更します】</p> <p>ご意見を踏まえて、土地利用構想図を修正します。</p>
7	28ページ	市民とともに歩む経営を行います	<p>経営は企業用語で使用する言葉で市政であると 思います。経営手段の市政であると思います。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>経営とは「事業目的を達成するために、継続体・計画的に意思 決定を行って実行に移し、事業を管理・遂行する」という意味も あります。高浜市は市民とともに運営していくということを、わ かりやすく表現しています。</p>
8	30ページ	「公共施設のあり方」	<p>公共施設については、もっと一般に開放しても よいのではないかと。例えば市役所の一階ロビーを 新作瓦の展示場にしたり、二階の空きスペースを 会議室として貸し出したりできないだろうか。公 共施設を増設するのではなく、使い方に柔軟性を 持たせ、誰でもいつでも使えるようにしてはどうか。 できれば使用料も徴収してはどうか。市内の 公共施設は展示場にもなるので、このような使い 方が可能になるような運用をしてはどうか？</p>	<p>【ご意見として承ります】</p> <p>ご意見として承り、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

No.	該当箇所	意見・提案	意見・提案の理由	考え方(案)
9	32ページ	「子どものまちづくりに参加する権利」について	自治基本条例(素案)第6条では「子どものまちづくりに参加する権利」を規定しています。一方、第6次総合計画(案)では目標(5)(P38~39)で「子どもが主体となって地域環境に参画できる環境をつくり～」とされていますが、まちづくり全般に参加する計画の内容が見られません。市民と行政のまちづくりにおける協働については、表現がありません。子どものことは、「II学びあい力を合わせて豊かな未来を育もう」の部分に表現しているからIには書かないということなのか、そこはどう考えられているのでしょうか。	【ご意見として承ります】 基本目標Iの目標(3)の「こんなことに取り組みます！」の中で「高浜市自治基本条例に基づいた自治の仕組みをわかりやすく示し、まちづくりの中で活用します。」と謳われています。子どもに関することや市民と行政のまちづくりにおける協働についてもこの中に含まれていると考えています。
10	38ページ	「幼保小中が一貫した高浜市独自の教育カリキュラム」	これは大切だと思います。しかし「学習指導要領」にしたがって実施する限りできない教育もあります。50分のコマを1日6コマ積んで行うのであれば、取り組みは50分で終わります。例えば自己表現力のひとつ、文章を作る力を身につかせようとするれば、題材の選択、文章を練ることなど、とても50分ではできません。2~3時間は必要です。このような取り組み、つまり「学習指導要領」の外にある教育は場所や人の問題もあるが、地域で取り組むとよいのですが。	【ご意見として承ります】 ご意見として承り、今後の施策の参考とさせていただきます。
11	44ページ	農畜産業が今後も持続して、発展していくためには支援をしていく必要があります。安定的な農業経営に向けての支援を行います。	安定的な農業経営のために組織化・法人化が考えられたのだと思います。この考え方は、安城では重要だと思いますが、高浜ではもっと別の進み方も考えてよいのではないかと考えています。つまり大規模化のみでなく、小規模専門家も考えてよいのではないのでしょうか。決して広い農地を持っているわけではない高浜が安城のように広大な土地を有する市と同じように考えていては、持続・発展は容易ではないと思います。	【ご意見として承ります】 農業経営は、個人営農者の高齢化や後継者確保の面で課題を抱えており、安定的な農業経営のためには、本市においても、組織化・法人化した農業者団体を組織することが必要であると考えています。いただいたご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	意見・提案	意見・提案の理由	考え方(案)
12	44ページ	農畜産業が今後も持続して、発展していくためには支援をしていく必要があります。安定的な農業経営に向けての支援を行います。	高浜では新規就農にも門戸を開いてほしいと思います。新規といっても、若い新規就農者ではなく、60歳を過ぎた新規就農者(新規とはいえませんが)この年代は比較的労働力に余裕があり、意欲もあり、就農の可能性があると思います。更に作物についても工夫する必要があると思います。「作ったら売れる」と考えるのは難しく、売れるものを作ってはどうか、もしくは他では作っていないものを作る。更には「食べる」ことだけ考えないで農産物から自動車燃料を考えた方もされていますが、私は「着る」を提案したいのです。麻や綿などの生産も考えられます。生産から加工まで、つまり綿や麻を育てるところから、織機などを使い衣料品にして、デザインするところまで、一般の市民が参加でき、オリジナルな衣料品ができないでしょうか。そのためには、高浜市の農業委員会がより柔軟な対応をして欲しいと思います。現に農地法施行令第1条の6第2項の一に掲げる「権利の取得後における耕作の事業が草花等の栽培でその経営が集約的に行われるものであると認められること。」という条文があります。この点にも目を見開いていただきたい。	【ご意見として承ります】 農業経営にとって、新規就農や生産品目の選定は大事だと考えています。いただいたご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。
13	44ページ	地場産業	地場産業＝瓦であればもっとPRが必要です。スレートと比べて何が良いのか、高浜市民にPRする必要があります。さらに鬼瓦などを通じて瓦に接近できるよう、かわら美術館で展示(11月13日からあるようですが)するなどしないとせっかく積み重ねてきたものがどんどん失われているような気がします。	【ご意見として承ります】 高浜市では、地場産業の振興を図るため「三州瓦屋根工事奨励補助制度」を実施しており、市民の多くの皆様にご利用いただいています。 また、愛知県陶器瓦工業組が実施している三州瓦の良さを国内外にPRして販路拡大を目指す「愛知県三河の窯業展」、「北海道等の寒冷地での展示会」、「海外での展示会」等へも支援を行っています。今後も関連事業者の皆様方と連携を図り地場産業の振興に努めてまいります。

No.	該当箇所	意見・提案	意見・提案の理由	考え方(案)
14	46ページ	「見る」「食べる」「楽しむ」場	「見る」「食べる」「楽しむ」だけでなく「着る」「住む」も考えてコミュニティ・ビジネスをとらえられると思います。「住む」場＝瓦でとらえると、消費者サイドから要望が出るのではないのでしょうか。ニーズに応える瓦産業がより発展するとおもいます。「着る」は原材料の生産から製品の衣料品まで高浜のオリジナルなコミュニティ・ビジネスとして育成できないか、と思います。消費を考え、商業の活性化にも結びつくの良いのですが。	【ご意見として承ります】 コミュニティ・ビジネスの発展型として、商業や地場産業などとの連携も重要です。まさに、地域ビジネスの芽を育むための取り組みが、人と人のつながりを深くし、地域の活性化、地域が豊かになることを目指していきます。
15	48ページ	「3R」活動の推進	分別収集のビジネスがあまりよく理解できていないので、工場見学など市民に理解できるような工夫がほしい。廃油は「せっけん」だけでなくディーゼルエンジンの燃料にもなるので、ぜひ高浜市が支援して廃油リサイクル・ビジネスを立ち上げ、廃油の回収は分別収集できないだろうか。	【ご意見として承ります】 毎年、環境学習の一環として、エココツアーを開催し、環境学習施設やリサイクル工場などの見学・学習をしています。引き続き、分別収集に対する理解を深めていただくためにもリサイクル工場の見学やリサイクルに関する情報を広報に掲載してまいります。 ご意見のありました廃油によるディーゼルエンジンの燃料化については、そのための設備費、また、その後の運営経費等、ビジネスとしては、大変厳しいものと理解をしていますので、今は将来的な課題と認識しています。
16	48ページ	みんなでまちをきれいにします	まち協の事業として推進	【ご意見として承ります】 既に自主的に地域の環境美化に取り組んでいるまちづくり協議会もあります。市の全域で取り組みが広がるよう、PRを進めてまいります。

No.	該当箇所	意見・提案	意見・提案の理由	考え方(案)
17	52・53 ページ	公園内のトイレ全部電気を明るくしてきれいにしてほしい		【ご意見として承ります】 市内には、21箇所の都市公園と9箇所の児童遊園があり、適切に管理していると考えています。
18	54ページ	安全・安心が実感できる基盤づくり	災害防止地域対策として、防災都市構想の推進 (防災再開発都市の建設)	【ご意見として承ります】 地域の連携による防災ネットワークづくりを進め、安全・安心が実感できる基盤づくりにつながるような施策を進めてまいります。